

混雑緩和に向けた取組みについて



2019年8月20日
東京地下鉄株式会社

1.混雑緩和の取組みについて

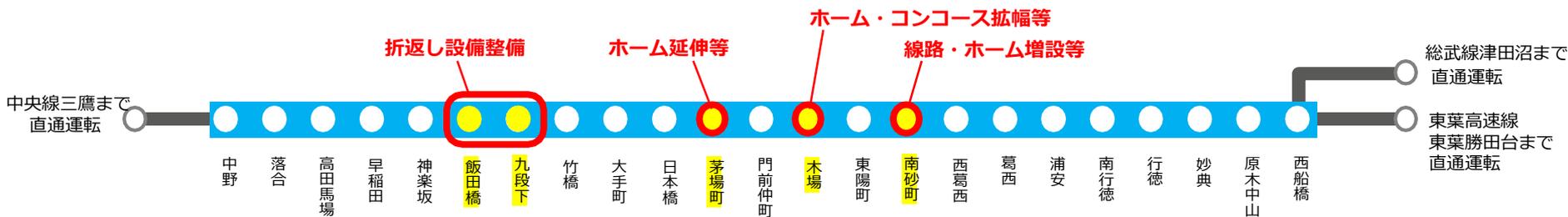
当社では混雑緩和対策として、従来から駅・施設の大規模改良や列車増発等に取り組んでいます。

本日はその中からハード施策として東西線大規模改良並びにCBTCの導入、ソフト施策としてオフピークプロジェクトを紹介いたします。

<ハード施策>

(1) 東西線における大規模改良工事 **T**

- ハード・ソフトの両施策を実施することで混雑率180%以下を目指しています。中でもハード対策として、総額約1,200億円となる4つの大規模改良工事を実施しています。



(2) CBTC（無線式列車制御）システムの導入 **M** **H** **Z**

● 大規模改良工事中

- 駅間における遅延回復効果を高めるため、列車間隔をさらに短くできるCBTCシステムを導入し、混雑緩和を図ります。

<ソフト施策>

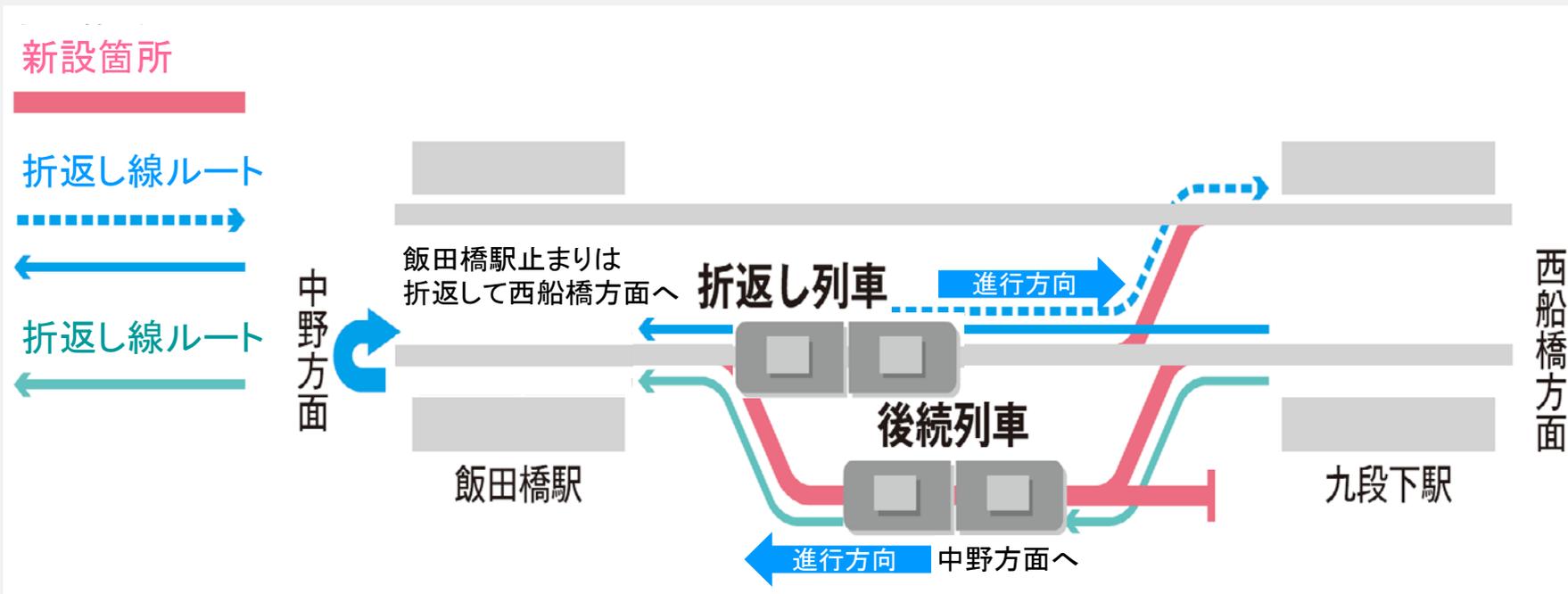
(3) オフピークプロジェクト **T** **Y** **G**

- オフピーク時間帯におけるご利用の魅力を高めることで、ラッシュの分散化を図ります。
- 東西線及び豊洲、新橋オフピークプロジェクトを実施中です。
- 加えて、東京ベイゾーン及びオリンピックスタジアムエリアにおいても同プロジェクトを実施中です。

線路を新設するとともに折返し設備を整備します。

これにより、折返し列車と後続列車の同時運行が実現できることから、将来的に列車の増が可能となります。

【運行イメージ】

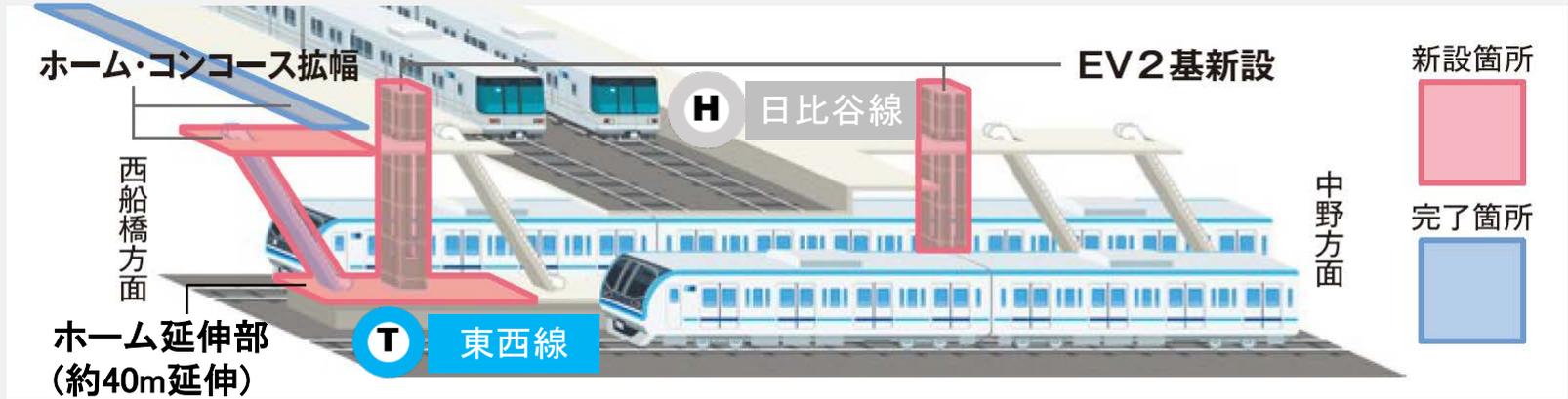


【効果】

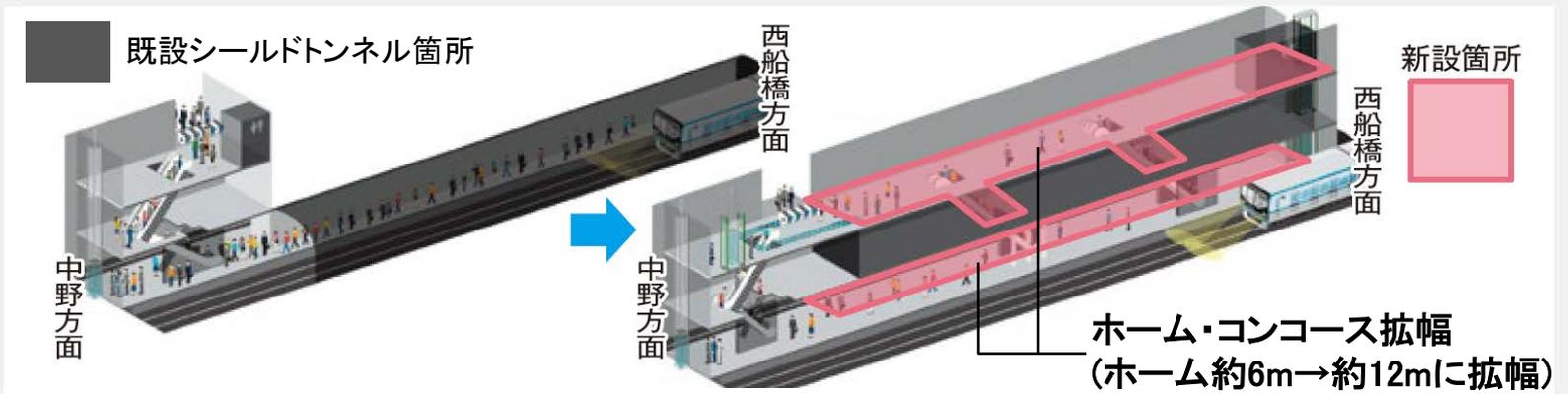
今までは折返し列車が後続列車の進路をふさいでしまう構造であったため、列車増発が困難でした。このため、折返し列車と後続列車の同時運行ができる本線構造とすることで、将来的な列車の増発が可能となります。

ホームの延伸やコンコースの拡幅により、お客様の流れを分散し乗降をスムーズにします。
 これにより、遅延の原因となっている駅構内の混雑を緩和します。

【茅場町：改良後イメージ】



【木場駅：改良前、改良後イメージ】

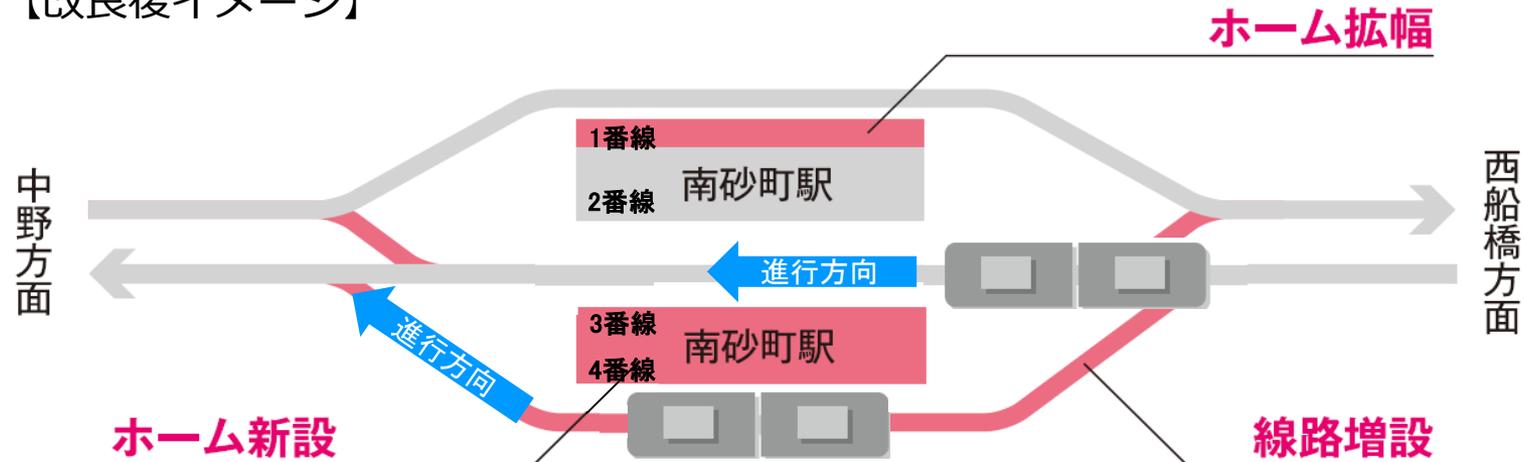


列車を運行しながら既設のシールドトンネルを解体し、新たな空間を生み出す世界初の工事です。

線路とホームを増設し2面3線化します。

これにより、列車の交互発着が可能となり、列車渋滞に伴い発生する遅延を防止します。

【改良後イメージ】



4番線(3番線)の列車がホーム区間に在線している状態でも、後続列車が3番線(4番線)に到着することができるため、遅延を防止することができます。



現場全景
(2019年6月)



新設ホーム付近
工事現場
(2019年6月)

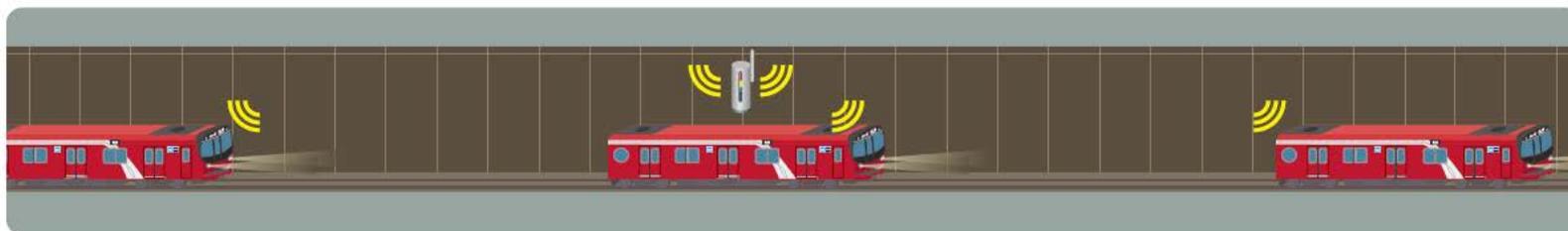
3.日本の地下鉄初となるCBTC（無線式列車制御システム）の導入

最新の信号システムとして、日本の地下鉄では初となるCBTCシステムを導入します。

これにより、従来設備より列車の間隔をさらに短くすることができ、高い遅延回復効果が得られるようになります。

<導入予定路線> 2023年度：丸ノ内線・日比谷線 2024年度：半蔵門線

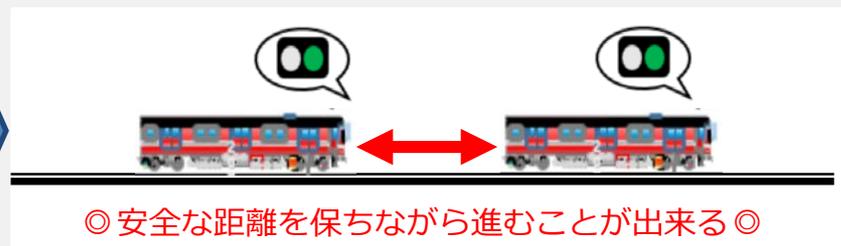
【CBTC運行後の導入イメージ】



【列車間隔の短縮について】

ATCシステム（固定式の信号制御区間）

CBTCシステム（移動式の信号制御区間）



【効果】

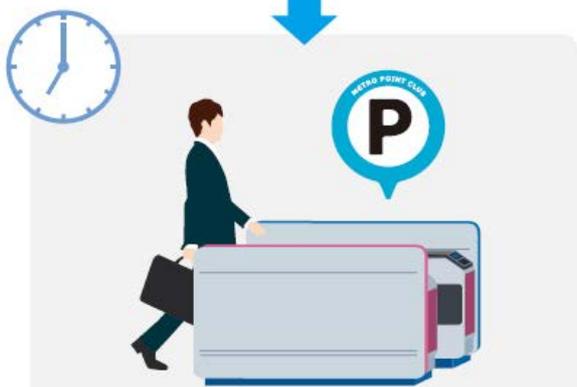
従来のATC（固定式の信号制御区間）では列車間隔を固定された区間で管理することから、列車間隔を短くすることが困難でしたが、CBTC（移動式の信号制御区間）では無線で列車間隔を管理することから、列車の間隔をさらに短くできるようになります。

4.メトポを活用したオフピークプロジェクト（東西線、豊洲、新橋）

朝ラッシュピーク前後の時間帯にご利用いただいたお客様への特典として、PASMOにチャージして運賃や電子マネーとしてご利用できるポイントを進呈します。

これにより、オフピーク時間帯におけるご利用の魅力を高めることで、ラッシュの分散化を図ります。

【オフピーク通勤イメージ】



空いている時間帯に利用してメトポをゲット！

(1) 時間帯別ポイント進呈（東西線、豊洲、新橋）



【新橋駅の例】 入場時間



(例) 月20回ゴールドタイムに乗れば500円相当のポイントを進呈

(2) 改札別ポイント進呈（豊洲）



比較的空いている中央改札から出場すると追加ポイントを進呈



※ **Pメトポ** あらかじめご登録いただいたPASMOにチャージした金額で東京メトロをご乗車いただくと、乗車日数・回数に応じて所定のポイントが貯まるサービスです。

5.東京2020大会会場最寄駅オフピークプロジェクト

TDM施策の一環として、東京2020大会開催時に特に混雑が見込まれる会場最寄り駅のエリア（東京ベイゾーン・オリンピックスタジアムエリア）において、スムーズビズ期間と合わせてオフピークプロジェクトを実施しています。

- (1) 実施期間 2019年7月22日(月)～8月 2日(金)
8月19日(月)～8月30日(金)
- (2) 対象駅 東京ベイエリア : 月島、豊洲、辰巳、新木場
オリンピックスタジアムエリア : 外苑前、青山一丁目、北参道、明治神宮前
- (3) ポイント進呈時間帯 豊洲・新橋オフピークプロジェクトと共通の時間帯設定※

※改札出場時間

東京2020大会 会場最寄駅
OFF PEAK PROJECT
[1st] 2019.7.22 MON - 8.2 FRI
[2nd] 2019.8.19 MON - 8.30 FRI

東京ベイゾーン
月島駅 辰巳駅 新木場駅
+
豊洲 OFF PEAK PROJECT

オフピーク通勤の時間にPASMOで改札をタッチ！
メトロのポイント(P)メトボをさしあげます。

1st zone / ゴールドタイム 25min 7:00-7:30 AM	1st zone / シルバータイム 15min 7:30-8:00 AM	1st zone / ブロンズタイム 10min 9:30-10:30 AM
--	--	---

Pメトボに登録で自動エントリー！

メトボを
したいから PASMOをメトボに登録！ 自動的に
①WEBで登録 ②駅にて登録 「エントリー」！

メトボに
登録したら 自動的に 「エントリー」！

詳しくはWEBで。メトボ

東京2020大会 会場最寄駅
OFF PEAK PROJECT
[1st] 2019.7.22 MON - 8.2 FRI
[2nd] 2019.8.19 MON - 8.30 FRI

スタジアムエリア
外苑前駅 青山一丁目駅 北参道駅 明治神宮前駅

オフピーク通勤の時間にPASMOで改札をタッチ！
メトロのポイント(P)メトボをさしあげます。

1st zone / ゴールドタイム 25min 7:00-7:30 AM	1st zone / シルバータイム 15min 7:30-8:00 AM	1st zone / ブロンズタイム 10min 9:30-10:30 AM
--	--	---

Pメトボに登録で自動エントリー！

メトボを
したいから PASMOをメトボに登録！ 自動的に
①WEBで登録 ②駅にて登録 「エントリー」！

メトボに
登録したら 自動的に 「エントリー」！

詳しくはWEBで。メトボ

- ・当社は、混雑を緩和し、快適な輸送サービスをお届けするために、駅・施設等の大規模改良やオフピーク通勤(通学)によるラッシュの分散化に向けた各種取組みを進めています。
- ・本日ご紹介した施策以外にも新橋・豊洲駅の駅改良、南北線8両編成化、早朝時間帯における列車増発等の混雑緩和対策に積極的に取り組むことで、お客様の利便性・快適性向上を目指します。
- ・スムーズビズ等、東京都と鉄道事業者が連携した取組みを推進していきます。